

自分の言葉で思いや考えを伝える

国際化が進む中、さまざまな場面で求められる英語力。市では、子どもたちの英語によるコミュニケーション能力を育てるために、全国に先駆けて小学1年生から英語教育を行っています。



放課後英会話教室を実施(豊住小)



ALTも研修でタブレットの活用方法を学ぶ

教育課程特例校としての市独自のカリキュラム

市では、文部科学省の認定を受け、市独自のカリキュラムで英語教育を行っています。

小学校では、歌やゲームのほか、買い物やレストランなどの実際の場面を想定したコミュニケーション活動を通して楽しく英語を学んでいます。さらに小学5・6年生の授業では、市独自のカリキュラムに加えて、デジタル教材を使った授業を行っています。

中学校では、国際社会で使える英語のコミュニケーション能力を養うために標準授業時間を拡大し、市独自の指導案に基づいた「発表・やりとり」を中心とした授業を行っています。

より良い授業にするために、カリキュラムは児童・生徒の理解度などに応じて、毎年見直しを行っています。

また、今年度からは新たにタブレット端末を授業に取り入れられました。英語での自己紹介などで、発表用のスライドを作成したり、発表の様子を録画して発音を確認したりするほか、クイズアプリを活用するなど、さまざまな形で積極的に利用しています。

外国人と接する機会を身近に

児童・生徒が自然な英語に慣れ親しみ、外国の文化を理解する意識を育むため、全ての市立学校に外国人英語講師(ALT)を配置しています。



浴衣を着た授業も(久住小)

現在、45人のALTが在籍し、学級担任や英語の担当教員とともに授業を行っています。

小学校低学年から外国人と接することにより、物おじせず発言する力を身に付けるための英語教育を進めています。

また、ALTが話す英語に慣れ親しみながら、実際の場面を想定した授業の中で、自分の思いや考えを自分の言葉で繰り返し話すことで、より実践的な英語を習得できます。

市では今後も、児童・生徒の「間違いを恐れず、積極的に英語で自分の思いや考えを伝える姿勢」を育み、国際都市成田の未来を担うことのできる人材の育成を目指し、英語教育の歩みを進めていきます。

※くわしくは教育指導課(☎20・1582)へ。